**B型肝炎母子感染について**

1. お母さんがHBs抗原、HBe抗原ともに陽性の場合

　無処置ならば生まれてくるお子さんのほとんどは（95%以上）が、B型肝炎ウイルスに感染します。感染後は、B型肝炎ウイルスは持続して体内に持った状態に（キャリアといわれます）になると、将来的には肝炎を発症したり肝硬変に進む可能性があります。

　B型肝炎予防を行った場合、感染が予防され、90%程度は予防が成功します。ただし、すでに胎内で感染している場合は予防できません。

②お母さんがHBs抗原陽性、HBe抗原陰性の場合

　無処置であれば数％に感染があると言われています。①の場合に比べて感染率は低いのですが、一度感染しキャリア化すれば肝炎や肝硬変に注意して生活しなければなりません。

＊　①、②の場合とも母乳による感染はないとされています。

＊　お母さん自身も内科での定期的な診察が必要です。

お子さんのB型肝炎母子感染予防処置スケジュール

　　　　　( / ) ( / ) ( / ) ( / )

　　　　　出生直後　1生月　2生月　3生月　4生月　5生月　6生月　　9生月

HBIG

HBワクチン

HBs抗原

HBs抗体